

学校だより 郷音ひびき

第110号
令和6年2月
発行
山崎西小学校



学校評価について

教頭 田路 康幸

令和六年一月十六日に、本校にもロサンゼルスドジャース大谷翔平選手からのグローブが届きました。一月十七日の全校終会で紹介し、全児童が大谷選手のグローブに触れてキャッチボール等ができるよう、学年で順番に使用する日を決めて野球に親しんでいます。大谷選手のグローブに嬉々として触れて遊ぶ児童たちの様子を見て、この光景こそ「大谷選手のものぞんではないことではないか」と私も大変嬉しい気持ちになりました。

昨年大活躍をした大谷選手ですが、彼はその類い希な才能だけで活躍しているのではなく、人一倍野球に対する努力をしています。大活躍や大成功の裏側には必ず完璧な準備があります。大谷選手の様々な努力というのは、まさにその準備にあたるのではないかと思います。そして、準備を整えて物事にのぞむからこそ、仮に結果が悪くとも、「何が足りなかった」とか、「更に何をすれば良いのか」等、反省点が明確になり、適切な修正が行えます。我々教職員も、日々の教育に対する準備を怠ることなく、山崎西小学校の教育に力を注いでいこうと思っています。

さて、昨年十二月に実施した保護者アンケートでは、保護者の皆様から貴重な評価やご意見をいただきました。また、学校評議員の皆様からも評価や励ましの言葉を賜りました。これらの結果を真摯に受け止め、今後の教育活動の推進や改善に取り組みでまいります。本年度も、アンケート結果と今後の方策について考察しましたのでお知らせします。

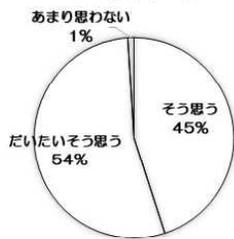
① 確かな学力の育成

家庭学習の状況は学年が上がるにつれてきていない割合が高くなっています。適切量の宿題を課し、きめ細やかな点検をすることで、学習意欲の向上につなげていきます。また、家庭での読書の様子については、できていないとの回答が六割でした。学校での読書意欲の向上を図るとともに、ファミリー読書の取組等を強化し、本に親しむ時間を増やしていきたいと考えます。

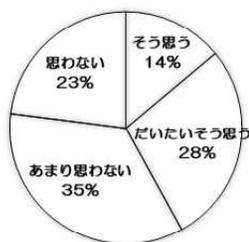
② 豊かな人間性の育成

生活アンケートやQ.U調査から児童の実態把握に努め、学習や生活に困り感がないかを的確に分析し、児童交換を密にして職員全体で児童理解をした上で指導にあたります。更に、少人数のメリットを生かし、

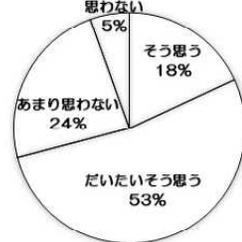
学校は道徳教育・体験活動などを通して、豊かな心を育てようとしていると思われますか



読書をしていますか



進んで家庭学習をしていますか



2・3月の行事予定

【2月】

- 14日(水) PTA授業参観
山崎西中学校入学説明会
- 15日(木) 口座振替日
- 16日(金) 新入生体験入学
- 22日(木) ファミリー読書・上靴洗濯日
- 23日(金) 天皇誕生日

定時退勤日 毎週金曜日：16日



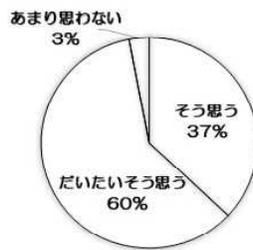
【3月】

- 1日(金) 6年生を送る会
- 6日(水) PTA理事会
- 13日(水) 山崎西中学校体験入学
- 15日(金) PTA役員新旧引継会
- 19日(火) 給食最終日
- 20日(水) 春分の日
- 22日(金) 卒業証書授与式
- 25日(月) 第3学期終業式
並びに修了式
- 26日(火) 春季休業開始(~4/6)

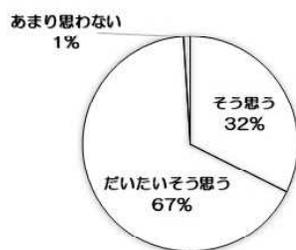
定時退勤日 毎週金曜日：1・8・15

・22・29日

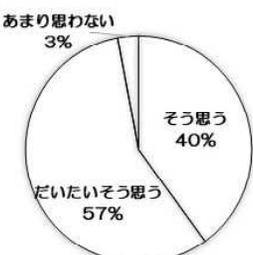
学校は児童一人一人に応じた学びと生活のきめ細やかな指導に努めていると思われますか



学校はいじめや差別を許さない学校づくりに取り組んでいると思われますか



学校は交通指導や防災教育・安全教育等を通して、安全で安心な学校づくりに努めていると思われますか



④ 安全・安心な学校づくり
毎月の学校生活アンケートにより、児童からアットホームな異年齢交流の機会を設け、児童会活動の活性化を図り、体験活動・集団づくりを更に充実させることで、よりよい人間関係を築く力と人権意識の向上に努めます。

③ 教職員の実践的指導力の向上
ICTを活用した教育の充実と差別や偏見、性の多様性等人権意識を高めるための講師招聘研修を重ね、指導力の向上を図ります。また、特別支援教育コーディネーターを中心に校内支援委員会を定期的に開催し、各児童のニーズに応じた支援体制の確立に努めます。連絡帳や通信等を積極的に活用して保護者との連絡体制を充実させ、学校と家庭の連携を深めていきます。

の小さなサインも見落とさない取組を続けていきます。本年度もアンケートからの聞き取りにより、事が大きくなる前に人間関係のトラブルを解消することにつなげていきました。これからもいじめ、問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努めていきます。また、各種訓練や安全教育を充実させ、児童も教職員も危機対応能力を高め、命を大切に取る取組を継続していきます。

本年度の分析を通して、来年度、改善すべきところを明確にし、何事にも準備の大切さを忘れることなく教育活動に取り組みで参ります。今後とも十一年目を迎える山崎西小学校の教育推進へのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

児童の作文

ゆきあそび

一年 〇〇 〇〇

ゆきあそびをしたよ。ゆきだるまをつくってみたら、手がちよっとつめたかったけど、とつてもかわいくできました。ともだちといっしょにつくったゆきだるまは、いいおもいでになりました。白いゆきはきれいだなともいいました。

ゆきあそび

一年 〇〇 〇〇

ゆきあそびをしました。ゆきだるまをつくって、じょうずにできたなっておもいました。ゆきがっせんもしました。みんな、せんせいにあてていました。ゆきをさわったらつめたいなあっておもしろい。まだみんなでゆきあそびをやりたいです。

ひなんくんれん

二年 〇〇 〇〇

今日、ひなんくんれんがありました。ぎょう間にほうそうがなりました。みんなですかにしてうんどう場のまんなかにあつまりました。しゃがんで手で頭をまもりました。もし、じしんがおこっても、今日みたいにのちをまもりたいです。
ひなんした後、体いくかんに行って、みんなで一七をわすれないほうさいしゅう会をしました。校長先生のお話を聞いて、はしんあわじ大しんさいのことをたくさん知りました。ひなんじょに、やっとおにぎりとどいた時に「おとしよりの人と子どもが先におにぎりもらいな」って言われてたことや、そのことをだれもおこらなかつたお話を聞いて、みんなのやさしさがすごいと思いました。なくなられた人を思ってもくごうをしました。竹とうろうの中が知りたくて、見た時はろうそくがありました。

教室にかえったあと、道とくをしました。「ありがとう」というお話が一番心にのこりました。ポランティアさんがみんなのためにごはんを作っていてやさしいなと思いました。

豆ふ作り体験

三年 〇〇 〇〇

一月十八日に、ありがさんと田川さんといっしょに豆ふ作りをしました。始めのあいさつのめいさんの言葉で気持ちが入りました。まず、大豆をミキサーですりつぶす作業をしました。大豆はたくさんあったけど、とても楽しかったです。

次に、すりつぶした大豆を四十分ぐらいにこみました。その後、こねる作業をしました。出来上がった豆ふを少し食べると、とてもおいしかったです。
家に持って帰った豆ふは、おみそしるに入れて食べました。みんなおいしいと言ってくれてうれしかったです。

四年生は国語の授業で学習した「ウナギのなぞを追って」の紹介文を書きました。

ウナギのなぞを追って

四年 〇〇 〇〇

「ウナギのなぞを追って」は、日本中のウナギがたまごを産む場所や、ウナギがどんな一生をおくる生き物なのかをあきらかにするための調査のお話です。

ウナギの赤ちゃん、レプトセファルスは、海にすみにくく、海流に運ばれやすくするためにやなぎの葉のような形をしています。最初にとれたレプトセファルスの体長は、五十四ミリメートルです。生まれてからだいぶ時間がたっているの、かなりのきよりを海流にのって流されてきたと考えられました。生まれた場所はもつと海流をさかのぼった場所であると考えられました。調査のほんいを広げていくと、とれるレプトセファルスの体長はしだいに小さくなっていきます。西向きに流れる北赤道海流をさかのぼって東へ行くほど、とれるレプトセファルスは小さくなっていきます。

これまでの調査から、ウナギは「新月のころ」「海山の近く」でいっせいにたまごを産むと考え、調査をする。二〇〇五年新月の日、マリアナ諸島の西の海山付近で体長五ミリメートルのレプトセファルスがとれました。フロントとよばれる塩分のこさがことなる海水

のさかい目に注目してさらに調査を続けること、二〇〇九年、ついにたまごをとることができました。

このように、ウナギが卵を産む場所は、ほとんど明らかになったと書かれています。が、筆者の塚本さんは、知りたいことがまだ山積みのようなのです。わたしは、八十年近くかかってもあきらめずに調査を続け、なぞを明らかにしていたのがすごいと思いました。

思い出がつまったスキー教室

五年 〇〇 〇〇

スキー教室では、約八年ぶりにスキーをしました。始めにスキーブーツをはきましただ。いつもは絶対曲がらない曲がるけど、このブーツは絶対に曲げられないくらいかたくて、はくのがとても難しかったです。ブーツをはいて移動するのは違和感しかなく、少したけど、少しずつ慣れていきました。スキー教室が始まったけれど、スキーですべるといふ感覚を完全に忘れていたので、午前中はけっこうこずりました。

風ご飯のカレーには、大好きな福神づけがのってうれしかったです。そのカレーが、疲れた体にしみておいしかったです。午後からは、ムービングベルトで上がってすべる練習をしました。と中でムービングベルトが急に止まることがあったり、少しこわかったです。でも、地道に力二歩きで坂を上るよりは早く上に行けてうれしかったです。

スキー教室

六年 〇〇 〇〇

一月十二日、スキー教室でちくさ高原スキー場に行きました。今年は雪が降らなくてスキーができる心配だったけど、スキー場に近づいて行くと、少し積もった雪が見え始め、到着するとたくさん積もって

たのでうれしくなりました。僕は初めて一班になり、みんなについて行けるか、上級コースをすべれるか不安でした。だけど雪不足ですべれるコースは一つだけ少し安心しました。

僕達の班の担当は岩井先生でした。準備をして班に分かれて軽くフレイキの練習をしてから、いよいよリフトに乗りました。今シーズン初めてのスキーだったので、少し緊張したけど、うまく乗れたのでホッとしました。一本目をすべると、久しぶりのスキーはとても気持ちよくて、やっぱりスキーは楽しい!と思いました。二、三本すべり終わると岩井先生に「みんな速いし、上手やな。」とほめてもらい、うれしくてさらに自信がつかまりました。

先生になるべく足をそろえてターンするようにならなりました。意識して練習してみただけで、最初はうまくできませんでしたが、午前は五本ほどすべって、お昼は食堂でカレーを食べました。僕はちくさ高原スキー場のカレーが大好きです。

集合写真をとってから、午後の部が始まりました。午前中でできなかった足をそろえるターンの練習をしました。八の字にならないようにぐっとこらえて、体重移動に気をつけてすべってみたり、先生が、「うまい人のすべり方を見てみ。」と言われたので、見て勉強したりしました。

じよに足がそろってきて、少しできるよになってきました。午前中よりもスピードも出て、自分が思うようにすべれるようになっていたので、楽しすぎて帰りたくなくなりました。次は上級コースにもチャレンジしてみたいです。

帰りのバスはしりとりやマジカルバナをして楽しかったです。六年生最後の行事は天気もよく、とにかく楽しくてとてもいい思い出になりました。